

JASDAQ 銘柄コード 7564

2013年3月期 第3四半期決算説明会

～ エブリデー・ロー・プライス政策の強化とコア(核)商品の売場づくりの推進 ～



株式会社 ワークマン
2013年2月7日 開催

ご説明内容



- ・第3四半期決算の概要P3~P11
- ・2013年3月期決算の見通しP12~P14
- ・取組み状況P15~P19
- ・第3四半期決算の詳細P20~P24

第3四半期決算の概要

2013年3月期決算の見通し

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の概要1

第3四半期累計期間 4月～12月



<百万円、%>

	2012年3月期		2013年3月期	
	第3四半期累計期間		第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	46,504	+17.1	49,803	+7.1
(既存店売上高)	—	+15.4	—	+4.7
営業総収入	33,786	+19.0	35,183	+4.1
販売費及び一般管理費	6,000	+5.3	5,920	△1.3
営業利益	5,283	+51.0	6,007	+13.7
経常利益	6,001	+43.9	6,781	+13.0
特別損失	16	△96.7	38	+130.4
四半期純利益	3,141	+61.1	3,792	+20.7
1株当たり四半期純利益	153円96銭		185円88銭	

決算の概要2

第3四半期会計期間 10月～12月



<百万円、%>

	2012年3月期		2013年3月期	
	第3四半期会計期間		第3四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	18,186	+18.4	19,901	+9.4
(既存店売上高)	—	+16.7	—	+6.6
営業総収入	13,111	+18.7	13,933	+6.3
販売費及び一般管理費	2,068	+4.0	2,029	△1.9
営業利益	2,386	+41.3	2,802	+17.5
経常利益	2,637	+37.7	3,074	+16.6
特別損失	—	—	5	—
四半期純利益	1,337	+32.3	1,726	+29.1
1株当たり四半期純利益	65円56銭		84円61銭	

第3四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 17店舗、スクラップ&ビルド(既存店舗の活性化) 2店舗、閉店 1店舗
・ 渋川石原店(群馬県)・天童店(山形県)スクラップ&ビルド
- 2012年 12月末 702店舗
(2012年 3月末比 +16店舗、2011年 12月末比 +27店舗)

店舗運営形態

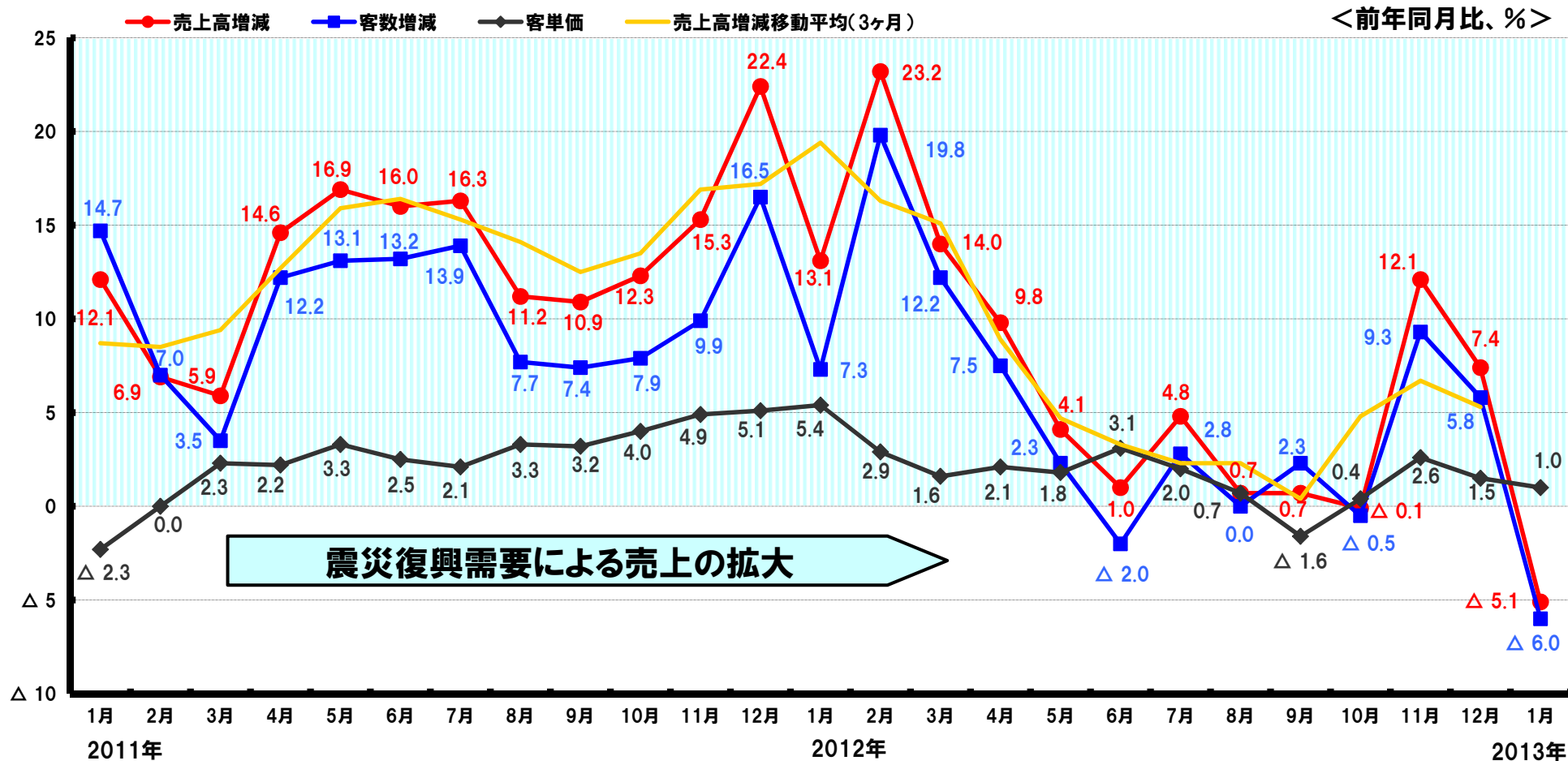
- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2012年 12月末 591店舗
(2012年 3月末比 +29店舗、2011年 12月末比 +37店舗)
- FC店舗比率 84.2%
(2012年 3月末比 +2.3ポイント、2011年 12月末比 +2.1ポイント)

販売強化

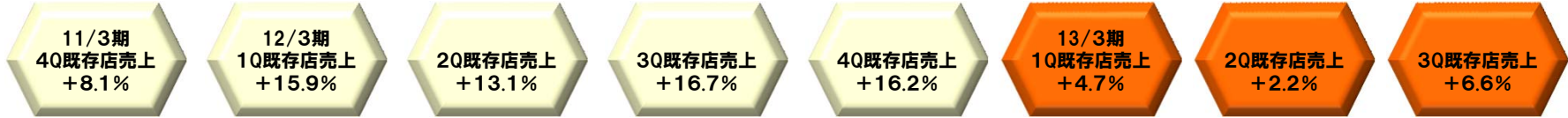
- 低価格政策の推進でエブリデー・ロー・プライス商品 210アイテムを新規導入
- プライベート・ブランド(PB)商品の開発で品質、機能、価格で他社との差別化を推進
- 冬物コア(核)商品を明確にした売場づくりを実施
- フランチャイズ・ストア荒利益率 35.4%(前年同期比+0.1ポイント)

月次推移と要因

■ 既存店売上客数客単価月次増減



震災復興需要による売上の拡大



販売状況 第3四半期累計期間 4月～12月



チェーン全店売上高 498億円

<前年同期増減率>

	チェーン全店	既存店	東日本エリア 既存店	西日本エリア 既存店
売上高	+7.1%	+4.7%	+3.6%	+6.4%
客数	+5.7%	+3.1%	+1.8%	+4.8%
1日当たり平均客数	—	116人(+3人)	—	—
客単価	2,349円	2,357円	2,392円	2,289円
	+1.3%	+1.6%	+1.8%	+1.6%
1品単価	842円	845円	844円	845円
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点	2.8点	2.7点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しております。

県別既存店前年同期比 第3四半期累計期間 4月～12月



既存店売上高前年同期比 +4.7%

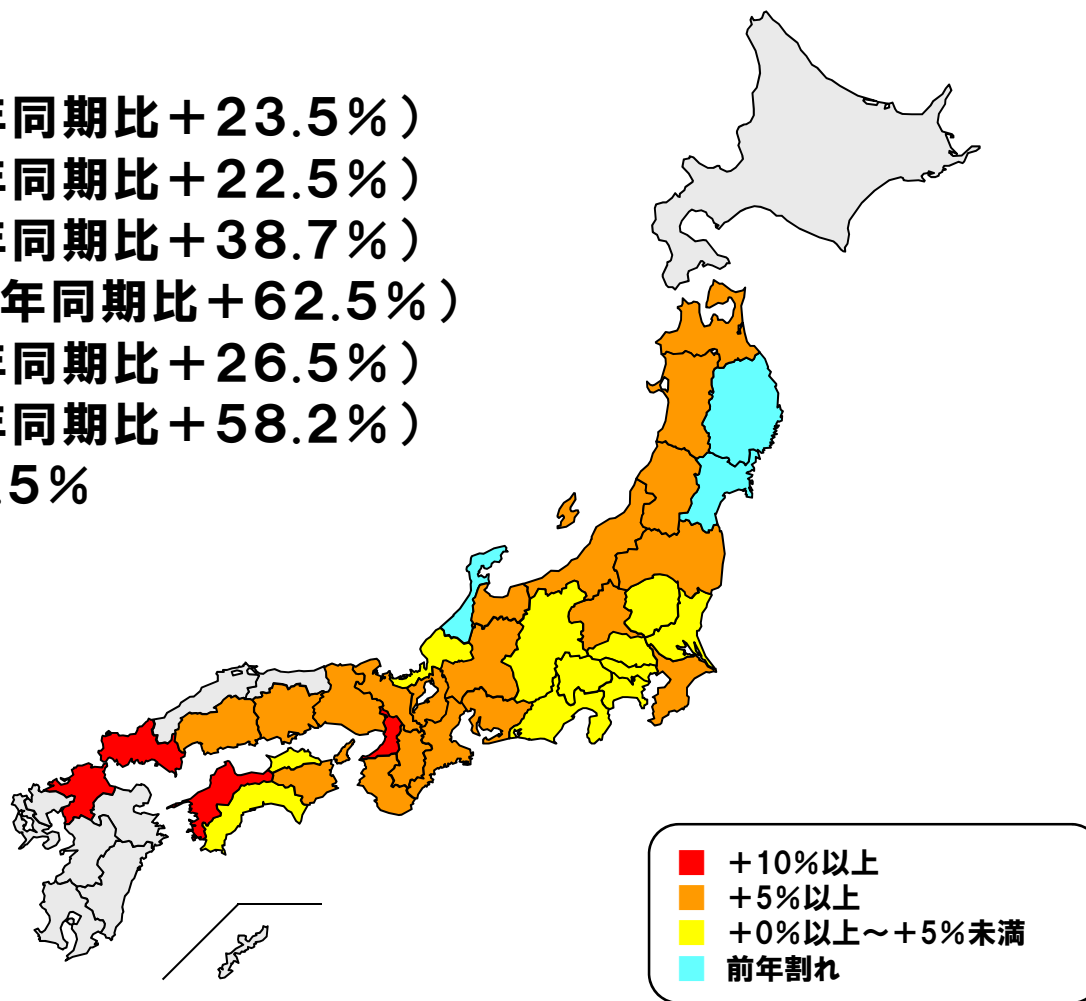
■ 東北地方の状況

- ・青森県 +9.7%(前々年同期比+23.5%)
- ・秋田県 +6.9%(前々年同期比+22.5%)
- ・岩手県 Δ 2.9%(前々年同期比+38.7%)
- ・宮城県 Δ 11.2%(前々年同期比+62.5%)
- ・山形県 +7.5%(前々年同期比+26.5%)
- ・福島県 +5.7%(前々年同期比+58.2%)

※東北6県前年同期比+2.5%

■ 伸び率10%以上の府県

- ・福岡県 +43.8%
- ・山口県 +29.6%
- ・愛媛県 +17.4%
- ・大阪府 +11.9%



商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2012年3月期 第3四半期累計期間		2013年3月期 第3四半期累計期間		要因
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	4,561	+16.8	4,935	+8.2	夏物では、猛暑に加え節電意識が高まり「涼しく快適」な衣料品の需要が高まり、「吸汗速乾」、「消臭加工」など機能性のある作業服、Tシャツの販売が好調。
カジュアルウェア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾン等	5,020	+23.1	5,377	+7.1	冬物では、平年より気温が低下したことで、「発熱」、「蓄熱」など機能性の高いインナーウェア、軽くて、暖かい防寒ジャンパーの販売好調。
ワーキングウェア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・着衣料等	13,765	+18.0	14,866	+8.0	
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足 袋・長靴・厨房シューズ等	9,466	+16.6	10,076	+6.4	安全スニーカーの販売が好調。 冬物では、防寒長靴、防寒安全靴の販売好調。
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメット・マスク等	12,186	+16.7	13,018	+6.8	軍手、ビニール手袋、ヤツケの販売好調。 冬物では、防寒作業手袋の販売好調。
その他 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・不織布作業服等	1,503	+0.7	1,529	+1.7	低価格の食品白衣の販売好調。
合計	46,504	+17.1	49,803	+7.1	

商品別売上構成



■チェーン全店商品別売上構成比前年同期比較

<%>

		2010年3月期 第3四半期 累計期間	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	2013年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期増減	2011年3月期	2012年3月期
衣 料	■ファミリー衣料	9.6	9.8	9.8	9.9	+0.1	10.0	9.9
	■カジュアルウエア	9.7	10.3	10.8	10.8	+0.0	9.7	10.1
	■ワーキングウエア	29.9	29.4	29.6	29.9	+0.3	28.4	28.5
用 品	■履物	20.6	20.4	20.4	20.2	△0.2	20.8	20.8
	■作業用品	26.1	26.3	26.2	26.1	△0.1	27.5	27.6
そ の 他	■白衣・ユニフォーム	4.1	3.8	3.2	3.1	△0.1	3.6	3.1
合計		100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0

第3四半期決算の概要

● **2013年3月期決算の見通し**

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の見通し



<単位:百万円、%>

	2012年3月期		2013年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	60,928	+17.3	64,580	+6.0
(既存店売上高)	—	+15.6	—	+3.8
営業総収入	43,971	+18.8	45,161	+2.7
販売費及び一般管理費	7,844	+3.5	7,927	+1.1
営業利益	6,883	+53.8	7,433	+8.0
経常利益	7,866	+45.9	8,444	+7.3
特別損失	75	△86.5	81	+7.3
当期純利益	4,403	+60.5	4,920	+11.7
1株当たり当期純利益	215円80銭		241円15銭	
1株当たり配当金	65円00銭		65円00銭	

決算の見通しポイント

通期業績予想

■商品力アップ

エブリデー・ロー・プライス(EDLP)政策の強化
プライベート・ブランド(PB)商品の開発

■売場の標準化

年間定番商品の売場づくりと品揃えを強化→欠品なき体制

■通期チェーン全店売上高 645億円 前期比 +6.0%

- ・既存店売上高前期比 +3.8%
- ・既存店客数前期比 +2.5%前後を想定
- ・既存店客単価前期比 +1.3%前後を想定

■経常利益 84億円 前期比 +7.3%

当期純利益 49億円 前期比 +11.7%

3期連続の増収増益で過去最高益達成へ

第3四半期決算の概要

2013年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第3四半期決算の詳細

出店計画

人口の多い南関東、近畿エリアの出店拡大で客数増加を図る

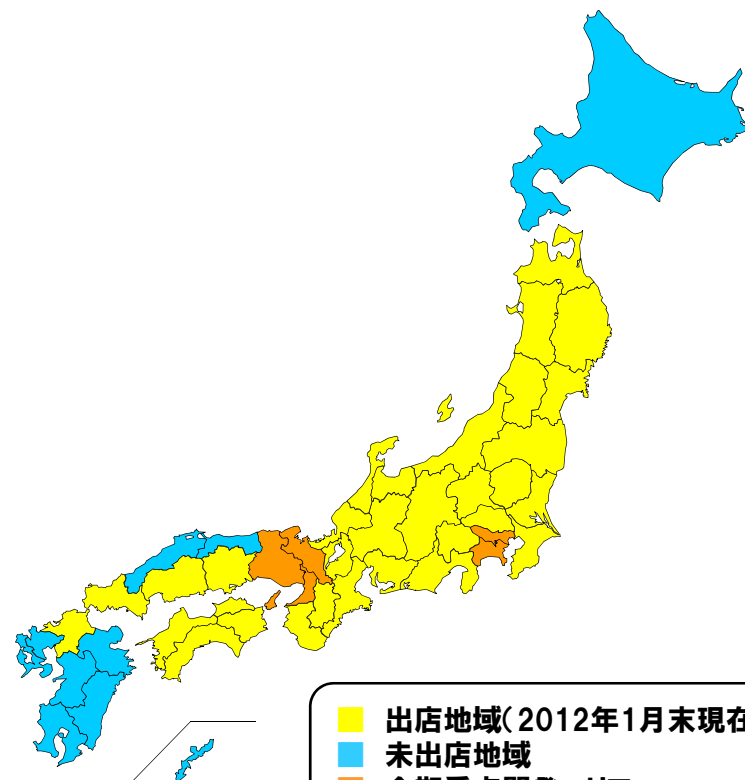
2013年3月期計画

- ・開店 25店舗、閉店 1店舗
- ・スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 2店舗
- ・期末店舗数 710店舗(前期末比 +24店舗)

出店状況

<店舗数>

地 域	4月~1月 出店実績	通期見通し
関 東	5	7
中 部	2	3
近 畿	6	6
中 国	1	3
四 国	2	3
九 州	3	3
合 計	19	25



■ 出店地域(2012年1月末現在)
■ 未出店地域
■ 今期重点開発エリア

フランチャイズ(FC)化の推進

個店売上の向上でフランチャイズ化を推進

2013年3月期計画

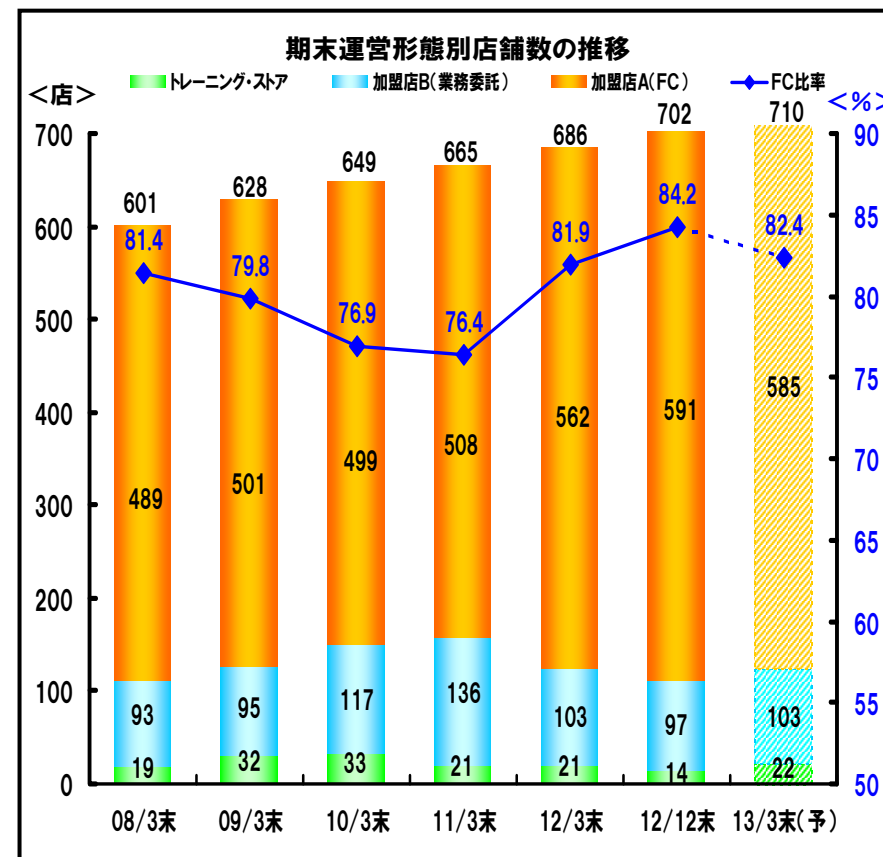
フランチャイズ・ストア(加盟店A契約) 585店舗(前期末比 +23店舗)

FC化状況

4月～12月の店舗運営形態の推移(開店含む)

	<店>		
	増加	減少	増減合計
加盟店A(FC)契約 (内B契約からの変更)	+44 (36)	△15	+29
加盟店B(業務委託)契約 (内A契約からの変更)	+34 (0)	△40	△6
トレーニング・ストア	+33	△40	△7

・4月～12月の9ヶ月間の既存店1店舗平均売上高が前年同期より331万円向上し、フランチャイズ・ストア化が進む。



エブリデー・ロー・プライス(EDLP)政策の推進

コア(核)商品の売場づくりでEDLP政策を強化

■ 2013年 3月期計画

- ・チェーン全店売上高に占めるEDLP商品販売構成比 40.3%
(前期実績 37.1%、前期比 +3.2ポイント)

■ EDLP商品販売状況(4月~12月)

	第3四半期		通期	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
2012年3月期	17,451	37.5	22,598	37.3
2013年3月期	21,193	42.6	26,000(計画)	40.3(計画)

■ コア(核)商品の売場提案

販促媒体と売場づくりを連動させてコア(核)商品をアピール

- ・鳶龍防寒ジャンパー(売価 1,580円)・パンツ(売価 1,280円)
ジャンパー・パンツ合わせた販売数 8万3千着
(販売数前年同期比 +28.5% +1万8千着)
- ・ヒートワーク裏起毛ハイネックシャツ(売価 499円)
販売数 22万8千着
(販売数前年同期比 +7.6% +1万6千着)

※販売数及び前年同期比は第3四半期累計期間の実績です。



プライベート・ブランド(PB)商品の開発

プライベート・ブランド(PB)商品の開発でEDLP政策を更に強化

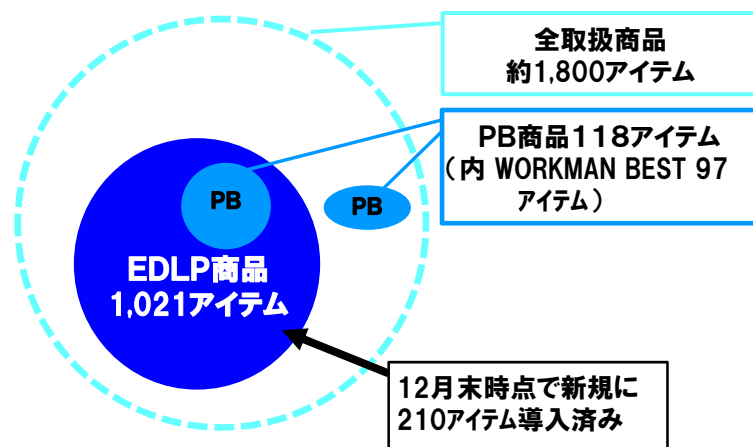
■プライベート・ブランド(PB)商品の開発で他店との差別化

- ・2011年1月より全店で展開スタート
- ・2012年12月末現在 118アイテムを展開(内 WORKMAN BEST 97アイテム)
- ・PB商品売上高 27億2千万円 (前年同期比+110%)
- ・チェーン全店売上高に占める構成比 5.5% (前年同期比+2.7ポイント)

■海外直接貿易取引でコスト削減による利益率の向上と商品の安定供給ルートの確保

- ・生産から販売までの効率的な商品供給体制の整備
- ・一部の商品をカインズと共同開発しコスト削減を図る

■商品展開の状況(2012年12月末)



2012年防寒「WORKMAN BEST」



ヒートアシスト吸湿発熱
肌着シリーズ
(1着 980円)
16万6千着販売



フリースネックウォーマー
(1個 199円)
11万7千点販売



スノーエア防寒手袋
(1双 580円)
3万点販売

第3四半期決算の概要

2013年3月期決算の見通し

取組み状況

● 第3四半期決算の詳細

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2012年 3月期末	2013年3月期 第3四半期末	増減	増減要因
流動資産	30,083	32,202	2,119	
現金及び預金	20,260	22,356	2,095	税引前四半期純利益67億43百万円 未払金増加6億11百万円 法人税等支払額△38億86百万円 配当金支払額△13億25百万円
加盟店貸勘定	4,831	5,147	316	対象店舗が21店舗増加(516店舗→537店舗)
商品	3,898	3,613	△284	流通センター在庫が69百万円減少 店舗在庫は直営店13店舗減少により約2億15百万円減少
固定資産	13,399	13,577	178	
有形固定資産	6,579	6,776	196	
建物(純額)	2,173	2,098	△74	出店・閉店状況 出店17店舗、S&B2店舗、閉店1店舗
構築物(純額)	624	594	△30	出店形態(S&B含む) 建物リース18店舗、O&P1店舗
土地	2,966	2,966	—	
リース資産	575	805	229	9店舗で2億70百万円計上
無形固定資産	174	160	△13	
投資その他の資産	6,644	6,640	△3	
差入保証金	5,408	5,408	—	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
繰延税金資産	530	535	4	
資産合計	43,482	45,780	2,297	

貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2012年 3月期末	2013年3月期 第3四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	8,993	8,593	△399	
買掛金・加盟店買掛金	3,607	3,519	△88	チェーン全店仕入高、前期末より92百万円減少
未払法人税等	2,246	1,199	△1,046	
その他	1,753	2,499	745	
未払金	1,078	1,812	734	加盟店分配金が3億10百万円増加 加盟店顕彰金を2億15百万円計上
固定負債	2,415	2,647	231	
リース債務	646	878	232	9店舗で2億84百万円計上
資産除去債務	577	583	5	
負債合計	11,409	11,241	△168	
株主資本	32,072	34,538	2,466	
純資産合計	32,073	34,539	2,466	自己資本比率75.4% 1.6ポイント向上
負債純資産合計	43,482	45,780	2,297	

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2012年3月期 第3四半期累計期間		2013年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	8,480		9,178		+8.2	
加盟店からの収入	5,896		6,575		+11.5	加盟店期中平均店舗数 当第3四半期 573店舗、前第3四半期 532店舗 41店舗増 加盟店売上高 当第3四半期 442億11百万円、前第3四半期 400億 26百万円 10.5%増 荒利率 当第3四半期35.4%、前第3四半期35.3% 0.1ポイント向上
その他の営業収入	2,583		2,602		+0.7	国内メーカーからの仕入高(直買仕入を除いた)前期比2.5%増 業務受託収入40百万円増加 賃貸料収入24百万円減少
売上高	25,306		26,005		+2.8	
直営店売上高	6,477	(100.0)	5,592	(100.0)	△13.7	直営店期中平均店舗数123店舗(17店舗減)
加盟店向け商品供給売上高	18,828		20,412		+8.4	加盟店売上高前年同期比10.5%増
営業総収入	33,786	100.0	35,183	100.0	+4.1	
直営店売上原価	3,673	10.9	2,843	8.1	△22.6	
加盟店向け商品供給売上原価	18,828	55.7	20,412	58.0	+8.4	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	22,502	66.6	23,255	66.1	+3.3	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2012年3月期 第3四半期累計期間		2013年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(2,803)	(43.3)	(2,749)	(49.2)	△1.9	仕入割戻しと直買取引の増加で仕入コストの減少
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	11,284	33.4	11,927	33.9	+5.7	
販売費及び一般管理費	6,000	17.8	5,920	16.8	△1.3	増減要因 人件費 約8,200万円増加 流通センター運営費用 約1億600万円増加 旅費交通費・消耗品等 約4,500万円増加 販売促進費 約9,600万円減少 直営店舗期中平均17店舗減 修繕費、事務費等 約1億4,500万円減少 約7,300万円減少
営業利益	5,283	15.6	6,007	17.1	+13.7	
営業外収益	745	2.2	808	2.3	+8.5	
営業外費用	27	0.0	35	0.1	+29.0	
経常利益	6,001	17.8	6,781	19.3	+13.0	
特別損失	16	0.0	38	0.1	+130.4	減損損失 営業不振店2店舗、返却店2店舗、転貸店2店舗、 遊休店5店舗で約38百万円
四半期純利益	3,141	9.3	3,792	10.8	+20.7	法人税率の引き下げで約1億4百万円増加

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564 (JASDAQ)

お問い合わせ先: 経営企画部IR室

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>